

自治会館建設委員会の検討内容と事業計画(案)

1 自治会館建設委員会の検討経過

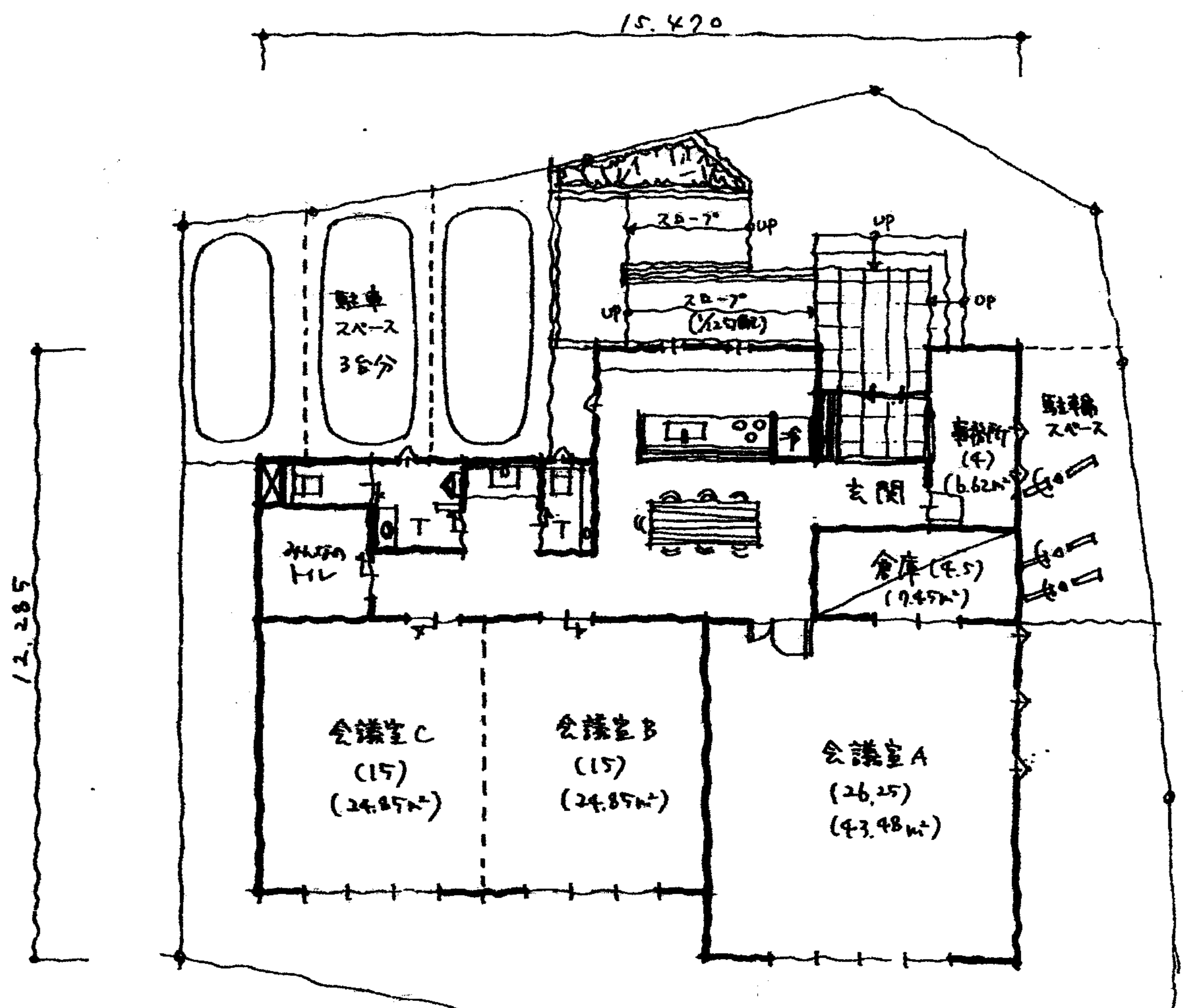
① 旧小川農事センターの管理が町田市に返還され、20年来にわたって要望があったつくし野自治会館用地確保の可能性が開かれ、2017年1月につくし野自治会連合のもとに、自治会館建設について調査・研究を行う作業部会が発足しました。作業部会は14回の会合、近隣8会館の訪問調査、学習会や町田市要請などを行い、建設委員会への移行に向け建設委員会規約(案)を準備しました。

② 2018年4月つくし野4各自治会総会にて建設委員会規約(案)が承認され、建設委員会が発足し、19回の委員会を開催するとともに、その下に3つのチーム(会館設計構想、システム検討、広報)で、それぞれの分野の調査・検討を進めてきました。

③ 会館建設には多額の資金が必要であることから、町田市集会施設整備事業補助金を利用するとともに、不足額はつくし野「地域ふれあい」基金の特別事業をお願いする予定です。翌年度の補助金獲得には6月までに事業計画案を町田市に提出しなければなりません。町田市補助金とふれあい基金特別事業の活用のためには、基金運営委員会と4自治会総会のご承認、地域住民のみなさんの合意形成が不可欠です。

④ 建設委員会では、つくし野ふれあいネットに建設委員会のページを作成して、議事録、『Q&A』等をアップ

イメージ図 設計図ではありません!



して、検討状況を公開しています。また、昨年11月には住民説明会を開催して、多様なご意見に耳を傾けて来りました。

他方、町田市市民協働推進課をその都度訪問して検討状況の報告をするとともに、農事センター跡地の草刈り・清掃などにもつとめてきました。

⑤ この度、自治会館建設事業計画(案)の概要をまとめることができました。つくし野4自治会「地域ふれあい」基金運営委員会ははじめ住民のみなさんにご検討をいただきたく、提案する次第です。よろしくお願ひします。